

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2019-88901 (P2019-88901A)

【公開日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【年通号数】公開・登録公報 2019-022

【出願番号】特願 2019-27937 (P2019-27937)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報を表示可能な識別情報表示部と、
遊技の進行に合わせて所定の演出音を出力するスピーカと、
操作可能な操作部材と、
遊技の進行を制御する主遊技部と、
演出を表示可能な演出表示部と、
演出表示部への演出表示を制御する副遊技部と

を備え、

主遊技部は、

識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に識別情報を停止表示させるよう制御する識別情報表示制御手段と、

副遊技部側で実行される演出表示に際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信する遊技情報送信手段と

を備え、

副遊技部は、

主遊技部側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段と、

遊技情報受信手段により受信された遊技情報に基づき、演出表示部にて表示する演出表示内容を制御する演出表示内容制御手段と

を備え、

識別情報の変動表示開始から停止表示までを一演出時間とし、ある一演出時間内の少なくとも所定期間において操作部材の操作が所定時間以上に亘って継続して行われた場合には、操作部材の操作が一回行われた場合であっても操作部材の操作が複数回行われたものと見做す特殊操作制御を実行可能であり、

操作部材の操作を受け付け可能とする第 1 有効時間内においては操作部材の操作を促す演出を演出表示部にて表示する一方で、操作部材の操作を受け付け可能とする第 2 有効時間内においては操作部材の操作を促す演出を演出表示部にて表示しないよう構成されており、

ある一演出時間内において表示される演出表示内容として、第 1 演出と第 1 演出よりも後に表示可能となる第 2 演出とを有し、

前記第 1 演出が表示されている際には前記第 2 有効時間が発生するよう構成されており、

前記第 2 演出が表示されている際には前記第 1 有効時間が発生し操作部材の操作を促す演出が表示されるよう構成されており、

前記第 1 演出が表示されている際に発生する前記第 2 有効時間内での操作部材の操作に基づき示唆演出が表示され、当該表示された示唆演出の表示態様に応じて前記第 2 演出が表示される期待度が異なるよう構成されており、

前記第 2 演出が表示されている際に発生する前記第 1 有効時間にて表示される操作部材の操作を促す演出が表示される際には複数種類の演出候補のうちの何れかが表示され、前記第 2 演出が表示されている際に発生する前記第 1 有効時間にて表示される操作部材の操作を促す演出が表示される際に前記複数種類の演出候補のうちの何れが表示されるかに応じて、有利状態への移行期待度が異なるよう構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

識別情報を表示可能な識別情報表示部と、

遊技の進行に合わせて所定の演出音を出力するスピーカと、

操作可能な操作部材と、

遊技の進行を制御する主遊技部と、

演出を表示可能な演出表示部と、

演出表示部への演出表示を制御する副遊技部と

を備え、

主遊技部は、

識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に識別情報を停止表示させるよう制御する識別情報表示制御手段と、

副遊技部側で実行される演出表示に際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信する遊技情報送信手段と

を備え、

副遊技部は、

主遊技部側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段と、

遊技情報受信手段により受信された遊技情報に基づき、演出表示部にて表示する演出表示内容を制御する演出表示内容制御手段と

を備え、

識別情報の変動表示開始から停止表示までを一演出時間とし、ある一演出時間内の少なくとも所定期間において操作部材の操作が所定時間以上に亘って継続して行われた場合には、操作部材の操作が一回行われた場合であっても操作部材の操作が複数回行われたものと見做す特殊操作制御を実行可能であり、

操作部材の操作を受け付け可能とする第 1 有効時間内においては操作部材の操作を促す演出を演出表示部にて表示する一方で、操作部材の操作を受け付け可能とする第 2 有効時間内においては操作部材の操作を促す演出を演出表示部にて表示しないよう構成されており、

ある一演出時間内において表示される演出表示内容として、第 1 演出と第 1 演出よりも後に表示可能となる第 2 演出とを有し、

前記第 1 演出が表示されている際には前記第 2 有効時間が発生するよう構成されており、

、

前記第 2 演出が表示されている際には前記第 1 有効時間が発生し操作部材の操作を促す演出が表示されるよう構成されており、

前記第 1 演出が表示されている際に発生する前記第 2 有効時間内での操作部材の操作に基づき示唆演出が表示され、当該表示された示唆演出の表示態様に応じて前記第 2 演出が表示される期待度が異なるよう構成されており、

前記第 2 演出が表示されている際に発生する前記第 1 有効時間にて表示される操作部材の操作を促す演出が表示される際には複数種類の演出候補のうちの何れかが表示され、前記第 2 演出が表示されている際に発生する前記第 1 有効時間にて表示される操作部材の操作を促す演出が表示される際に前記複数種類の演出候補のうちの何れが表示されるかに応じて、有利状態への移行期待度が異なるよう構成されている
ことを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることがなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

識別情報を表示可能な識別情報表示部（例えば、第 1 主遊技図柄表示部 A 2 1 g）と、
遊技の進行に合わせて所定の演出音を出力するスピーカ（例えば、スピーカ D 2 4）と

、
操作可能な一又は複数の操作部材（例えば、サブ入力ボタン S B）と、
遊技の進行を制御する主遊技部（例えば、主制御基板 M）と、
演出を表示可能な演出表示部（例えば、演出表示装置 S G）と、
演出表示部（例えば、演出表示装置 S G）への演出表示を制御する副遊技部（例えば、副制御基板 S）と

を備え、

主遊技部（例えば、主制御基板 M）は、

識別情報表示部（例えば、第 1 主遊技図柄表示部 A 2 1 g）にて識別情報を変動表示させた後に識別情報を停止表示させるよう制御する識別情報表示制御手段と、

副遊技部（例えば、副制御基板 S）側で実行される演出表示に際して必要な遊技情報を副遊技部（例えば、副制御基板 S）側へ送信する遊技情報送信手段と

を備え、

副遊技部（例えば、副制御基板 S）は、

主遊技部（例えば、主制御基板 M）側から送信された遊技情報を受信する遊技情報受信手段と、

遊技情報受信手段により受信された遊技情報に基づき、演出表示部（例えば、演出表示装置 S G）にて表示する演出表示内容を制御する演出表示内容制御手段と

を備え、

所定の操作部材（例えば、サブ入力ボタン S B）の操作状態に基づいて、スピーカ（例えば、スピーカ D 2 4）から出力される演出音の音量レベルを調整可能に構成されており

、
演出表示部（例えば、演出表示装置 S G）にて所定画像が表示されている場合に、演出音の音量レベルを調整可能に構成されており、

前記所定画像の表示終了タイミング、又は、識別情報の停止表示タイミングから所定期間が経過することにより、演出表示部（例えば、演出表示装置 S G）にて特定演出を表示し得るよう構成されており、

特定の操作部材（例えば、サブ入力ボタン S B）を操作することにより前記所定画像が表示可能な旨を報知する画像である特定画像を表示可能に構成されており、

特定演出を表示していない場合に、前記特定の操作部材（例えば、サブ入力ボタン S B）を操作することにより前記特定画像が表示されるよう構成されており、

特定演出を表示している場合に、前記特定の操作部材（例えば、サブ入力ボタン S B）を操作することにより前記所定画像が表示されるよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。